

文化芸術発表・交流活動支援事業選考委員会の評価基準

文化芸術発表・交流活動支援事業選考委員会では、次の評価基準により総合的な観点から審査を行っています。

1 文化芸術性(20 点)

- ・市の文化振興や市民の文化活動の活性化に繋がる事業であるか。
- ・上質な文化芸術を発表する技術があり、技術向上を意識して取り組まれているか。
- ・団体や個人の特性を生かし、市民が楽しめるような独自の創意工夫がされているか。
- ・市民に伝えたい思いや理念が計画書から読み取れるか。

2 発表性(15 点)

- ・市民の発表の場の確保・促進に役立っているか。
- ・幅広い年齢の市民が気軽に鑑賞できる工夫がされているか。
- ・事業計画が具体的で、実現性が高い内容となっているか。

3 公益性(15 点)

- ・特定の団体や個人の利益につながるものがなく、多様な価値観を尊重できる内容となっているか。
- ・補助金がないと実施困難または補助金の交付により活動の幅が広がる事業であるか。
- ・文化を担う人材の育成や増加が期待できるか。

※初めて応募する団体又は個人(過去10年間に応募していない団体又は個人)については加点があります。